

富士山を世界文化遺産に！



富士山山頂付近で御来光を見るイコモス調査員 8月31日午前5時(写真:文化庁提供)

イコモスによる

現地調査が行われました

昨年1月、日本政府は「富士山」の推薦書をユネスコ世界遺産センターに提出しました。これを受け、8月29日から9月5日にかけて、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）の調査員が、静岡・山梨両県にある構成資産の保存管理状況を調査しました。

県では今後も、文化庁を始め、山梨県や関係市町村等と連携を図り、平成25年の登録が確実になるよう、万全を期してまいりますので、引き続き、皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

News List

- ◎イコモスによる現地調査の概要
- ◎文化庁記者会見「登録を確信」
- ◎富士山世界文化遺産両県県民会議通信

イコモスによる現地調査の概要

「富士山」に関するイコモスによる現地調査が行われました。

この調査は、推薦資産の保存管理の状況等について実際に現地で確認するもので、その専門的評価が世界遺産登録の可否に大きな影響をもつものです。調査では、25の構成資産について、写真や図面等を使用して関係者が説明を行いました。

実施にあたっては、地元住民の皆様の御協力のもと関係者が一体となって準備を進め、無事に調査を終えることができました。



8/29 北口本宮富士浅間神社での調査の様子
(写真:富士吉田市提供)

1.期 間

平成24年8月29日(水)～9月5日(水)の8日間

2.調査員

リン・ディステファノ氏
(カナダ・イコモス国内委員会委員)

3.対応者

文化庁、環境省、林野庁、日本イコモス、静岡県、山梨県、関係市町村、所有者等

4.日 程

区 分	日 程
8/29(水)	旧外川家住宅、小佐野家住宅、北口本宮富士浅間神社
8/30(木)	山中湖、富士山登山(吉田口登山道)
8/31(金)	富士山登山
9 / 1 (土)	河口湖、河口浅間神社、吉田胎内樹型、船津胎内樹型、忍野八海
9 / 2 (日)	富士御室浅間神社、西湖、精進湖、本栖湖、人穴富士講遺跡、白糸ノ滝、山宮浅間神社
9 / 3 (月)	富士山本宮浅間大社、村山浅間神社、大宮・村山口登山道(現富士宮口登山道)、須山口登山道(現御殿場口登山道)
9 / 4 (火)	須山浅間神社、富士浅間神社、須走口登山道
9 / 5 (水)	三保松原

9 / 3 富士山本宮浅間大社での調査の様子



Q イコモス(ICOMOS)とは…

ユネスコ世界遺産委員会の諮問機関で、国際記念物遺跡会議(International Council on Monuments and Sites)の略称。遺跡や歴史的建造物の保存を目的として、1965年に結成された機関です。本部はフランスのパリにあります。イコモスの役割としては、各国政府から推薦された文化遺産候補に対して、専門家が審査(書類審査・現地調査)を行い、その評価結果を世界遺産委員会に報告(勧告)することです。このイコモスによる評価結果の勧告を経て、世界遺産委員会において登録の可否が決定されます。

文化庁記者会見 「登録を確信」

イコモスによる現地調査終了後、文化庁、静岡・山梨両県の担当者による記者会見が静岡市内のホテルで行われました。会見では、調査に万全な対応ができたことを説明し、今年6月の登録に向けての期待を表明しました。

以下に、文化庁の石野利和・文化財部長の総括コメントと質疑に対する応答を紹介します。



9/5 イコモスの現地調査終了後の記者会見

（石野文化財部長コメント）

◎イコモスの現地調査は、8月29日から9月5日までの8日間に渡り、スケジュール通り円滑に行われた。

◎調査員は、イコモスの規則によりコメントすることができない。我々の感触としては、調査員に一定程度の理解は得られたと考えている。

◎現地調査の目的は、「富士山」の文化的価値（OUV）の審査ではなく、基本的には保全管理の状況の審査である。

◎調査員とのやりとりの中で、調査員の関心が強かったと思われるのは次の3点。

- ①各構成資産の範囲、境界線
- ②各構成資産の保全管理のあり方、関係者の役割分担
- ③「富士山」の世界遺産全体を通じた理解のためのプレゼンテーション

◎静岡県、山梨県、関係市町村及び各資産の所有者の方々等、多くのの方々の御尽力により、この調査を行うこ

とができた。この場を借りて関係者の方の協力に感謝申し上げたい。報道関係者の方々にも御理解いただき、感謝申し上げます。

◎今後は、来年5月にイコモス勧告があるが、それまでに調査員やイコモスから追加的な情報提供の依頼があれば、自治体と協力しながら対応していきたい。

（質疑への応答から）

◎富士登山の際は、晴れてよかった。

◎調査員からは、神社にゴミがなくてきれいだというコメントがあった。

◎自信をもって推薦しており、今回の現地調査についても関係者の協力を得て、万全の対応ができたと思っている。来年6月には登録されると確信している。

県では、引き続き、富士山の保全管理を適切に進めていくとともに、「富士山の日」の取組や「富士山世界文化遺産両県県民会議」の活動などを通じ、将来にわたる富士山の価値の継承に向けた取組を官民一体となって広く国民運動として展開していきます。

今後のスケジュール

平成25年5月頃 イコモスによる評価結果の勧告
平成25年6月17日～27日 第37回世界遺産委員会において審議(カンボジア・プノンペン)

世界遺産委員会決裁の4区分

- ①**記載**: 世界遺産一覧表に記載するもの。
- ②**情報照会**: 追加情報の提出を求めた上で次回以降の審議に回すもの。
- ③**記載延期**: より綿密な調査や推薦書の本質的な改定が必要なもの。

推薦書を再提出した後、約1年半をかけて再度イコモスの審査を受ける必要がある。

- ④**不記載**: 記載にふさわしくないもの。例外的な場合を除き、再推薦は不可。

富士山世界文化遺産両県県民会議通信

このコーナーでは、平成24年2月23日の「富士山の日」に発足した「富士山世界文化遺産両県県民会議」会員の皆様の活動事例について御紹介します。

富士山を世界文化遺産にする熱海の会

平成18年8月18日に富士山の世界文化遺産登録の実現を図り、観光文化都市熱海の発展に寄与することを目的に設立されました。

これまでに、「富士山の日」に合わせた講演会の開催や、熱海にゆかりのある「末代上人」について現地学習を含む研究活動及び関係する文化財の保全活動など、世界遺産登録に向けた理解促進、機運醸成に係る様々な取組を進めています。

去る11月25日には、末代上人の足跡を辿りながら、富士山の構成資産を巡る学習会を開催し、富士山と信仰について理解を深めました。



富士山を世界文化遺産にする熱海の会の皆さん。
富士山本宮浅間大社にて

富士急行株式会社

富士急行株式会社では、富士山世界文化遺産登録に向けた機運醸成を図るため、オリジナルデザインのポスターやステッカーを作成し、運行しているバス、タクシーや関連施設に掲出しています。



バス車両へオリジナルステッカーを貼付してPR

オリジナルポスターを関連施設に掲出

取組の輪が広がっています！

取組の一部を御紹介

(株)日本パープル様

須走口登山道五合目で毎週末清掃及び登山者へゴミ拾い呼びかけ活動を実施。

静岡県タクシー協会様

会員各社の車両に世界遺産登録応援ステッカーを貼付して、利用客にPR。

(一社)ガールスカウト
静岡県連盟様

富士山五合目周辺で植樹活動を実施。

静岡県アマチュア無線移動愛好会/
ふじのくに静岡アマチュア無線グループ様
交信証に世界遺産登録応援コメントを掲載。

(株)フジヤマ様

ステッカーを作成し、社用車に貼付したり、名刺に応援コメントを記載してPR。

休暇村富士様

利用者から700件以上のメッセージをお寄せ頂く。

富士商工会議所様

富士山の理解を深めるため「富士山検定」を実施し、メッセージも募集。

米スベンディング株様

登録支援の飲料自動販売機をデザインし、設置。設置先の売上げの一部を寄附。

世界に誇る日本のシンボル富士山を 県民会議の入会について…
みんなで未来へ引き継いでいこう！ 詳しくは [富士山世界文化遺産両県県民会議](#) [検索](#)



発行 静岡県文化・観光部 文化学術局 世界遺産推進課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 <http://fujisan-3776.jp>
TEL.054-221-3746 FAX.054-221-2827 e-mail sekai@pref.shizuoka.lg.jp



環境配慮した紙・インクを使用しています。